

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 日和産業株式会社
 コード番号 2055 URL <http://www.nichiwasangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中澤 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長・総務部長 (氏名) 安井 秀夫

TEL 078-811-1221

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 12,175 | 16.0 | 106 | | 81 | | 55 | |
| 2022年3月期第1四半期 | 10,498 | 4.6 | 132 | 23.3 | 158 | 23.9 | 110 | 23.7 |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 75百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 119百万円 (27.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 3.07 | |
| 2022年3月期第1四半期 | 5.73 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 29,380 | 17,228 | 58.6 |
| 2022年3月期 | 29,046 | 17,409 | 59.9 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 17,228百万円 2022年3月期 17,409百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | | 0.00 | | 6.00 | 6.00 |
| 2023年3月期 | | | | | |
| 2023年3月期(予想) | | 0.00 | | 6.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日～2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 48,000 | 6.9 | 300 | 154.9 | 400 | 84.5 | 200 | 71.7 | 11.04 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2023年3月期1Q | 20,830,825 株 | 2022年3月期 | 20,830,825 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2023年3月期1Q | 2,718,918 株 | 2022年3月期 | 2,718,918 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年3月期1Q | 18,111,907 株 | 2022年3月期1Q | 19,311,948 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる活動制限が緩和へと進み景気回復の動きが期待されましたが、急激な円安の進行に加えウクライナ情勢の長期化により、資源価格や原材料価格が高騰し、景気の減速が懸念される等、依然として先行き不透明な状況にあります。

配合飼料業界におきましては、主原料のとうもろこしの相場価格は、中国の旺盛な需要やエタノール需要の増加に加え、ウクライナ情勢悪化の影響から上昇を続けております。副原料である大豆粕の相場価格は、大豆価格の高騰により堅調に推移しております。外国為替相場につきましては、米国での利上げによる金利差拡大の影響から、円安が進行しております。

畜産物市況につきましては、鶏卵相場は、生産量の抑制に加え5月の大型連休での需要見込み等により価格は上昇しましたが、梅雨明け以降続く猛暑による需要の低迷により価格は低下しました。鶏肉相場は、円安等による輸入価格の上昇や、堅調な需要から安定して推移しております。豚肉相場は、鶏肉相場と同様に、輸入価格の上昇等により堅調に推移しております。牛肉相場は、まん延防止措置の解除や輸出量の増加があったものの、ほぼ横ばいで推移しております。

このような状況のなか、当社は4月に配合飼料の値上げを行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は121億75百万円（前年同期比16.0%増）となりました。利益面につきましては、営業損失は1億6百万円（前年同四半期は営業利益1億32百万円）となり、経常損失は81百万円（前年同四半期は経常利益1億58百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は55百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億10百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

飼料事業

飼料事業では、前年に引き続き4月にも値上げを行ったことから、売上高は117億53百万円（前年同期比16.4%増）となりましたが、原材料価格が高騰したため、セグメント損失（営業損失）は74百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）2億46百万円）となりました。

畜産事業

畜産事業では、豚肉相場が前年同期より上昇したことから、売上高は4億21百万円（前年同期比6.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億34百万円増加し、293億80百万円となりました。これは、主に、現金及び預金が11億10百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が8億98百万円、原材料及び貯蔵品が3億73百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億15百万円増加し、121億51百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が4億64百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億81百万円減少し、172億28百万円となりました。これは、主に利益剰余金が1億62百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,617,584 | 6,507,404 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,580,819 | 11,479,129 |
| 商品及び製品 | 141,536 | 155,475 |
| 仕掛品 | 349,223 | 395,513 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,535,556 | 2,909,330 |
| その他 | 1,024,209 | 1,102,945 |
| 貸倒引当金 | △377,456 | △413,480 |
| 流動資産合計 | 21,871,473 | 22,136,318 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 5,603,173 | 5,604,746 |
| 無形固定資産 | 7,953 | 7,758 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期貸付金 | 1,203,298 | 1,294,543 |
| 破産更生債権等 | 1,809,044 | 1,808,092 |
| その他 | 807,843 | 776,236 |
| 貸倒引当金 | △2,256,526 | △2,247,311 |
| 投資その他の資産合計 | 1,563,659 | 1,631,560 |
| 固定資産合計 | 7,174,786 | 7,244,065 |
| 資産合計 | 29,046,259 | 29,380,384 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,858,870 | 6,323,849 |
| 短期借入金 | 4,269,000 | 4,269,000 |
| 未払法人税等 | 99,829 | 16,171 |
| 賞与引当金 | 100,531 | 150,608 |
| その他 | 1,121,270 | 1,204,990 |
| 流動負債合計 | 11,449,502 | 11,964,620 |
| 固定負債 | | |
| 長期末払金 | 84,240 | 84,240 |
| 退職給付に係る負債 | 20,542 | 20,899 |
| 資産除去債務 | 82,080 | 82,080 |
| 固定負債合計 | 186,862 | 187,219 |
| 負債合計 | 11,636,364 | 12,151,840 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,011,689 | 2,011,689 |
| 資本剰余金 | 1,904,186 | 1,904,186 |
| 利益剰余金 | 13,898,113 | 13,736,019 |
| 自己株式 | △722,067 | △722,067 |
| 株主資本合計 | 17,091,921 | 16,929,826 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 259,990 | 220,541 |
| 繰延ヘッジ損益 | 57,983 | 78,175 |
| その他の包括利益累計額合計 | 317,974 | 298,717 |
| 純資産合計 | 17,409,895 | 17,228,543 |
| 負債純資産合計 | 29,046,259 | 29,380,384 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 10,498,458 | 12,175,264 |
| 売上原価 | 9,814,683 | 11,655,422 |
| 売上総利益 | 683,775 | 519,841 |
| 販売費及び一般管理費 | 551,351 | 626,686 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 132,424 | △106,844 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,723 | 4,193 |
| 受取配当金 | 9,970 | 12,735 |
| 売電収入 | 14,371 | 15,588 |
| 為替差益 | 26,966 | 2,847 |
| その他 | 16,720 | 17,648 |
| 営業外収益合計 | 72,752 | 53,013 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,071 | 14,008 |
| 売電費用 | 6,078 | 5,554 |
| 設備修繕費 | 18,000 | - |
| 支払手数料 | 8,822 | 7,597 |
| その他 | 35 | 707 |
| 営業外費用合計 | 47,007 | 27,868 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 158,169 | △81,699 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 158,169 | △81,699 |
| 法人税等 | 47,483 | △25,916 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 110,686 | △55,783 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 110,686 | △55,783 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 110,686 | △55,783 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,839 | △39,449 |
| 繰延ヘッジ損益 | △252 | 20,192 |
| その他の包括利益合計 | 8,586 | △19,256 |
| 四半期包括利益 | 119,272 | △75,040 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 119,272 | △75,040 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。